

近畿農政局地方参事官室（京都府担当）からのメール情報 第146号

2022.8.24

各 位

近畿農政局地方参事官室（京都府担当）

時下益々ご清栄のことと存じます。

日頃より地域農政の推進に格段のご理解とご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

農政に関するメール情報を以下のとおり配信いたします。

皆様の地域の農業を元気にする取組に、少しでもお役に立てば幸いに存じます。

～～今回お知らせする情報～～

- 食品ロス削減に取り組む事業者を今年も公表します
～商慣習見直し事例の募集開始～
- 令和4年度食に関するWebセミナー（第2回）の開催について
- 「野菜の日（8月31日）」Webシンポジウムを開催します
- GAP、有機農業・環境保全型農業の意欲的な取組を募集します
- 「第7回ジビエ料理コンテスト」の応募者の募集について
- 令和4年度畜産環境シンポジウムの開催及び参加申込者の募集について



- 食品ロス削減に取り組む事業者を今年も公表します
～商慣習見直し事例の募集開始～

農林水産省は、食品ロス削減の取組を推進するため、食品ロス削減に向けて商慣習の見直しに取り組む食品事業者を募集します。

【募集内容】

食品小売業者及び食品製造業者が取り組む以下の商慣習の見直し事例を募集します。本年10月30日時点の取組状況に基づき、事業者名等の公表を行います。

(ア)食品小売業者

- ・加工食品の納品期限の緩和（特に、賞味期間180日以上を推奨）
- ・フードバンク・子ども食堂等への食品の提供

(イ)食品製造業者

- ・加工食品の賞味期限表示の大括り化（年月表示、日まとめ表示）（特に、賞味期間180日以上を推奨）
- ・加工食品及び日配品の賞味期限の延長（商慣習検討ワーキングチームを設置した平成24年度以降に実施した商品がある企業）
- ・フードバンク・子ども食堂等への食品の提供

【募集対象者】

募集内容(ア)、(イ)の内容に、本年10月30日時点で取り組んでいる、または取り組む予定の食品小売業者及び食品製造業者。

「取り組む予定」とは、取組を開始する時期（年月）が定まっている事業者となっています。

【募集期間】

令和4年8月10日（水曜日）～10月21日（金曜日）17時まで

※応募方法等詳細につきましては、以下のURLをご覧ください。

「プレスリリース」（農林水産省HP）

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/recycle/220810.html>

【お問合せ先】

農林水産省 新事業・食品産業部外食・食文化課食品ロス・リサイクル対策室
担当者：岸田、浅田、高橋

代表：03-3502-8111（内線4319） ダイヤルイン：03-6744-2066

○ 令和4年度食に関するWebセミナー（第2回）の開催について

近畿農政局では、消費者の関心が高いテーマについて、正確でわかりやすい情報を幅広く提供することを目的として、令和4年度食に関するWebセミナーを開催しています。

近年、気候変動や生物多様性の低下、SDGsをはじめとする環境への意識の高まりを受けて、社会全体を持続可能なものにしていくことが求められています。環境に配慮した有機食品の表示としては有機JAS制度があり、消費者の選択に資する取組が行われています。

今回は、正しい理解に基づいて環境に配慮した農産物を選んでいただけるよう、消費者の安心（信頼確保）のための有機食品表示とその担保としての監視についてご紹介します。皆様の参加申し込みをお待ちしております。

【開催日時・開催場所】

日 時：令和4年9月6日（火曜日）13時30分～15時
開催場所：Web会議室（ZoomによるWeb開催）

【開催内容】

- (1) みどりの食料システム戦略について（13時35分～13時55分）
近畿農政局 消費生活課長 安宅 倭
- (2) 有機JAS制度における食品表示と監視（13時55分～14時40分）
農林水産省消費・安全局消費者行政・食育課 課長補佐 成田 寿徳
- (3) 質疑応答（14時40分～15時）

※申込方法等詳細につきましては、以下のURLをご覧ください。

「プレスリリース」（近畿農政局HP）

<https://www.maff.go.jp/kinki/press/syouhi/seikatu/220805.html>

【お問合せ先】

近畿農政局 消費・安全部消費生活課

担当者：森、上野

ダイヤルイン：075-414-9771 FAX番号：075-414-9910

○ 「野菜の日（8月31日）」Webシンポジウムを開催します

8月31日は、野菜「8(ヤ)3(サ)1(イ)」の日です。野菜は、ビタミン、ミネラル、食物繊維等が豊富に含まれ、私たちにとって重要な食べ物です。しかし、成人1人1日当たりの野菜の摂取量は平均280g程度で、また、約7割の人が目標とされる350gに達しておらず、特に20から40歳代で野菜不足が目立っています。

そこで、8月31日の「野菜の日」に、最新データに基づいた野菜の重要性について基調講演を行うとともに、若い世代の摂取量を増やすための方策等について多様な方々とともに議論し、理解を深めることを目的としたシンポジウムを開催します。

【開催日時及び開催方法】

日時：令和4年8月31日（水曜日）16時00分から18時20分

会場：申込後、ウェブ会議参加用のURLを各参加者へメールでお送りいたします。

【プログラム】

1.基調講演

「日本人の野菜摂取量の現状と課題」

瀧本 秀美 氏（国立健康・栄養研究所 栄養疫学・食育研究部長）

2.対談

「工藤阿須加が語る 農業を通じて感じること」

工藤 阿須加 氏（俳優）

今野 聡（農林水産省 農産局 園芸作物課長）

3.パネルディスカッション

「若い世代の野菜摂取量を増やすために」

※参加方法等詳細につきましては、以下のURLをご覧ください。

「プレスリリース」（農林水産省HP）

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/ryutu/220801.html>

【お問合せ先】

農林水産省 農産局園芸作物課

担当者：野島、高畑、廣瀬

代表：03-3502-8111（内線4791）ダイヤルイン：03-3502-5958

○ GAP、有機農業・環境保全型農業の意欲的な取組を募集します

農林水産省は、持続可能な農業の確立を目指し意欲的に経営や技術の改善等に取り組んでいる農業者等を表彰する「令和4年度未来につながる持続可能な農業推進コンクール」を実施します。

GAPの実践や有機農業・環境保全型農業に取り組んでいる農業者等の募集を開始しますので、奮ってご応募ください。

【表彰対象者】

(1) GAP部門（個別経営の部、団体の部、人材育成の部）

(2) 有機農業・環境保全型農業部門（個別経営の部、団体の部、人材育成の部）

【応募期間】

令和4年8月22日（月曜日）から10月21日（金曜日）

※応募方法等詳細につきましては、以下のURLをご覧ください。

「プレスリリース」（農林水産省HP）

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kankyo/220822.html>

【お問合せ先】

農林水産省 農産局農業環境対策課

<全般及びGAP部門について>

担当者：岡本、北國

代表：03-3502-8111（内線4852）ダイヤルイン：03-6744-7188

<有機農業・環境保全型農業部門について>

担当者：藤原、上野

代表：03-3502-8111（内線4840）ダイヤルイン：03-6744-2114

○ 「第7回ジビエ料理コンテスト」の応募者の募集について

本コンテストは、鳥獣利活用推進支援事業において、「一般社団法人日本ジビエ振興協会」が取り組むもので、選定・表彰された料理レシピを広く紹介・提供することで、消費者等への普及啓発を図り、ジビエの全国的な需要拡大と鳥獣利活用の推進を図るものです。

今年度は、プロ部門と、一般・学生部門の2部門に分けて、幅広くレシピを募集します。

【募集テーマ】

国産のイノシシ・シカを使用し、多くの人に安全でおいしく提供できる、郷土の食材とジビエを融合させた料理。

【対象】

<プロ部門>

飲食店等で調理に携わる方、料理研究家など

<一般・学生部門>

ジビエに関心のある一般・学生の方

※応募条件や応募方法等につきましては、以下のURLをご覧ください。

「プレスリリース」(農林水産省HP)

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/tyozyu/220810.html>

【お問合せ先】

農林水産省 農村振興局農村政策部鳥獣対策・農村環境課

担当者：鳥獣利活用推進班 村田、中元

代表：03-3502-8111（内線5491）ダイヤルイン：03-6744-2196

○ 令和4年度畜産環境シンポジウムの開催及び参加申込者の募集について

農林水産省が策定した「みどりの食料システム戦略」における化学肥料の使用量

3割減目標や、昨今の肥料価格高騰等を背景とし、堆肥を供給する畜産関係者への期待が増しています。

このような中、堆肥に関する基本的知識やペレット化等の取り組み事例の紹介等を通じて、耕種農家に求められる堆肥に関する知見を深め、良質堆肥供給の取組を推進することを目的として、本シンポジウムを開催します。

【開催日時及び開催方法】

日時：令和4年9月13日（火曜日）13時15分～17時00分

会場：（後日、ウェブ会議参加用のURLを参加者へメールでご連絡します。）

【プログラム】

1.挨拶

2.講演

- （1）売れる堆肥・売れない堆肥～基本に戻って考える～（技術士事務所Office FUJIWARA 代表 藤原 俊六郎氏）
- （2）堆肥をめぐる情勢（農林水産省畜産局畜産振興課課長補佐 川島 有子氏）
- （3）堆肥の利活用のための堆肥化技術（（一財）畜産環境整備機構畜産環境技術研究所 研究統括監 道宗 直昭氏）
- （4）朝日アグリア堆肥活用の取り組みと堆肥入り複合肥料の機能性について（朝日アグリア株式会社 営業統括部堆肥プロジェクト担当部長 木村 亨氏）
- （5）鶏ふん堆肥の高付加価値化技術と戦略的販売（有限会社鈴鹿ポートリー 代表取締役 近藤 拓弥氏）

3.質疑応答

※参加申込方法等詳細につきましては、以下のURLをご覧ください。

「プレスリリース」（農林水産省HP）

https://www.maff.go.jp/j/press/chikusan/c_sinko/220823.html

【お問合せ先】

農林水産省 畜産局畜産振興課

担当者：川島、福田、中越

代表：03-3502-8111（内線4853）ダイヤルイン：03-6744-7189



メール情報の配信停止・配信先変更ご希望の方は、その旨を記載し、このメールに返信願います。



近畿農政局 地方参事官室（京都府担当）
〒602-8054
京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町
TEL：075-414-9015
FAX：075-414-9057
E-MAIL: kinki_sanjikan_kyoto@maff.go.jp

